科目名	会社法Ⅰ　　Corporate Law Ⅰ						
科目担当者	毛利 朋美　　MOURI Tomomi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 経営学部・経営学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	会社法は、会社の設立、組織、運営および管理等について定めた法律であり、会社をめぐって生じる諸課題に対して、法的な解決手段を提示しています。この授業では、会社法の内容について、基本的な内容を理解してもらうように、具体例を挙げながら講義を行います。この授業は、会社法に関する基礎知識の修得のために行います。 本講義では Moodle 内で資料を配布し、これに基づいて解説します。詳しい内容は「授業計画・内容」の欄を参考にして下さい。						
授業の到達目標	①　会社法上の会社の種類や各種会社の特質等の基本的事項が理解できている。 ②　会社法上の主要な論点の確認ができている。 ③　会社法に関する重要判例の内容の確認ができている。						

授業計画・内容		
	1	イントロダクション　／　最近の会社に関する話題について
	2	企業形態・会社の分類①　総論
	3	企業形態・会社の分類②　株式会社の設立
	4	企業形態・会社の分類③　持分会社の意義・種類・設立
	5	株式会社の資金調達①　株式、社債
	6	株式会社の資金調達②　新株発行、社債発行
	7	株式会社の機関①　株主総会
	8	株式会社の機関②　取締役・取締役会　／　課題の解説
	9	会社法に関わる人の話を聞こうⅠ（行政書士等からの講話を予定）
	10	株式会社の機関③　監査役・監査役会・会計参与・会計監査人
	11	株式会社の機関④　役員等の対外的責任、解散
	12	コーポレート・ガバナンス①
	13	コーポレート・ガバナンス②
	14	株式会社の設立設計から会社運営開始までの演習
	15	まとめ　／　課題の解説

授業外学修 (事前学修)	事前の学修としては、2 時間程度、指定教科書の該当部分を読んでおくことが望ましい。その際、必ず、関連条文を「六法」で確認しておくこと。
授業外学修 (事後学修)	事後の学修としては、2 時間程度、授業の内容を振り返るとともに、教科書の該当箇所を再度確認しながら、授業内容の知識を確実なものにしておくこと。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	授業中の小テスト	５０％	①、②、③
	２回の課題の提出	５０％	①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	柳明昌編著『プレステップ会社法〈第２版〉』（弘文堂、2023 年） 講義内で「六法」や、オンラインでの条文検索を使用します。
参考文献	神作裕之・藤田友敬・加藤貴仁編『会社法判例百選［第４版］』別冊ジュリスト No.254 （有斐閣、2021 年）
その他	